

学校 教育 目標	○柔軟な見方考え方をもち、好奇心豊かに学び続ける子を育てます。(知)				
	○自他の良さに気づき、思いやりの気持ちをもつ子を育てます。(徳)				
○豊かな心と健やかな体をもち、命を大切にすることを育てます。(体)					
○自分の行動に責任をもち、地域とともに生きる子を育てます。(公)					
○自分の気持ちを素直に表現し、様々な社会の変化に対応できる子を育てます。(開)					
学校 概要	創立 42 周年	学校長 皆川 誠	副校長 松本 真理	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 383 人		主な関係校: 金沢中学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	金沢中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力>	金沢中学校 金沢小学校 八景小学校 文庫小学校 釜利谷東小学 校	課題解決のために協力する子ども 他人を思いやり、地域社会に貢献しようとする子ども ----- ・社会性や協働性、課題解決能力やコミュニケーション能力を高めるために、地域や社会、自然等と触れあう豊かな体験を通じて、様々な人々と関わりながら、探究的な学習を行う。 ・社会で働いている人々や行われていることの本質に触れたり、働くことの意義や喜びを感じたりできるように職場体験や職場見学を行う。

中期 取組 目標	○子ども一人ひとりを大切に、互いを認め合える人づくりを進めます。 ・主体的に取り組むことができるような学習過程を工夫し、学習の楽しさやその達成感を十分に味わわせます。 ・気持ちのよい挨拶を通して互いを尊重し合う意識を高め、安心で楽しい学校生活を送れるようにします。 ・心と体の健康を意識し、健康的な生活習慣が形成できるようにします。 ・まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
確かな学力	①課題を自分ごととしてとらえ、思いや考えを表現しながら、学習や生活の中で新たな課題を見つけようとする力を育てる。②繰り返しの指導を重視し基礎学力を身に付けるとともに、基礎学力を活用しようとするなどの資質・能力を育てる。
担当 教務部	
豊かな心	①学年ブロックで連携し、子どもたちの実態をつかみ、子ども自らが問題意識をもって学習や生活に取り組む姿を育む。②全教育課程で、子どもたちの心を育てていくものとし、意識的に指導や支援ができるように、道徳教育全体計画と別葉を活用する。
担当 道徳部	
健やかな体	①体力づくりとともに仲間づくりを推進し、体と心の健康の保持・増進・向上をめざす。②仲間とともに楽しく運動し、バランスのよい体力づくりに取り組む。③人とふれあいながら体を動かすことを通じて、自分のよさ・様々な人やもののよさをとらえるようにする。
担当 体育部	
児童生徒指導	学年・ブロック・級外など、多くの教職員の目で、多面的に子どもを見とり、打ち合わせなどで情報を共有する。児童指導部会・ブロック会議・打ち合わせでは、児童理解に関わる事案をとりあげ、対応を確認する。また、普段から保護者と連携を図り、共に子どもを育てていくという姿勢を示していく。
担当 児童指導部	
特別支援教育	①一般学級での効果的な特別支援教育の学校体制の確立②年6回の特別支援教育全体会で共通理解をはかり、加筆・修正・活用を進めていく。③研修会やケース会議を持ち、個別の指導計画・個別の教育支援計画を子ども・保護者の思いや願いを取り入れながら作成する。
担当 特別支援委員会	
安全管理	①避難訓練を計画的・段階的に実施する。指導内容と振り返り(職員・児童)を大切にしながら、危機対応力を高めていく。関係各機関との協力も積極的に行う。②きたる大規模災害の発生を想定し、防災意識を高めるとともに、学校・家庭・地域の防災体制の共通理解を図る。
担当 安全教育委員会	
学校運営協議会	①にラインやネットなど共通な課題について、中学校・地域・保護者と共に考える場や情報交換をするなどの連携をし、児童・生徒の健全な育成を図っていく。②本校の重点目標である「あいさつ」「読書」「体力向上」について共通理解を図り、共に考え・学校・家庭で推進してけるような取り組みをする。
担当 総務部	
担当	b8
いじめへの対応	いじめなどの問題行動に対して、組織的対応と初期対応を日常化する。YPや市のいじめアンケートだけでなく、昨年度から実施した学校生活アンケートを継続し、一人ひとりの子どもにきめ細やかな支援ができるようにしていく。事案が発生した際には、複数名による聴き取りや事実の確認と記録など手厚い初期対応を徹底する。
担当 児童指導部	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①初任者・2年目などの若手教員の育成に向けてメンター研・初任者研修指導を充実させる。②不定期だったブロック研・学年研を定期的に行い、児童理解・共通理解が図れるようにする。③新組織の円滑な運営のため、月1回提案内容の確認やふり返りのための時間を設ける。
担当 総務部	